市長記者会見記録

日時：2025年4月1日（火）14時00分～14時06分

場所：本庁舎2階 記者会見室1・2

議題：市政一般

<内容>

【市政一般】

《新年度の抱負について》

【司会】 ただいまより定例市長記者会見を始めます。本日の議題は市政一般となっております。

それでは、早速質疑に入りますが、進行につきましては、幹事社様、よろしく願いいたします。

【朝日（幹事社）】 どうもお疲れさまです。朝日新聞でございます。新年度ということで、今年度は総合計画の改定もあり、一応節目の1年になるのかなと思いますので、総合計画も含めて、新年度の抱負をお願いできますでしょうか。

【市長】 まず、先月末に議会を通していただいた令和7年度予算を着実に執行していくということ、重点に掲げた市民の命を守っていく安全・安心予算ということですので、防災・減災、防犯、子育て、こういったところにしっかり重点を充てた事業となっておりますので、それがしっかりと着実に実行できるように取り組んでいきたいと思っておりますし、次の総合計画を策定していく大変重要な1年になっていきます。その意味でも、庁内での議論、ディスカッションをしっかりと行っていくというところに注力していきたいなと思っています。

時代の変化、不確実性が非常に高まっているところでありますけれども、大きな流れというのは、私たち、どういうふうに捉えて、未来を予測しながら、着実にいい計画ができるように取り組んでまいりたいと思っております。

【朝日（幹事社）】 ありがとうございます。

各社、どうぞ。

《市立新小倉小学校と市立看護大学大学院の開校等について》

【東京】 東京新聞です。新小倉小学校と看護大学大学院が、日付としては今日開校したということになるのかと思うんですけれども、それぞれ竣工式なり開学セレモニーで市長も御期待を述べられたかと思うんですけれども、改めまして、それぞれの学校への期待をお聞かせいただけますでしょうか。

【市長】 これまでも看護大学が短大から4年制化され、そして早々に大学院という形で、川崎市の最重要課題の一つとして取組を進めている地域包括ケアシステムに資する人材を、高度な看護職をつくっていくという仕組みは整ったと思っていますので、そういった意味で、人材を生み出していかないとその地域を支えることができないということからすると、非常に重要なピースがはまったと思っております。今回、定員を上回る27名の方が大学院に入学されてということで、20代から50代という非常にバラエティーに富んだ皆さんが入学されるということなので、ぜひ即戦力となるような、そういった人材が生まれていくことを期待しています。

新小倉小学校については、川崎市立の小学校としては115校目ということで、今の時代に新校かというように、ほかの自治体ではなかなか見られないようなところがありますけれども、立地しているところが新川崎、まさに量子イノベーションパークの中核的なところに学校が新設されるという意味は非常に大きいと思っています。そういった意味では、ハード的にも非常に素晴らしい学校であることは間違いありませんが、取組として、そういった人材が育成されるようないい環境は整っていると思いますし、特に地域に開かれた学校となっていますので、地域とともに子供たちが学んでいくことをみんなでサポートしていくような、そんな学校になってくれることを期待しています。

【東京】 ありがとうございます。

《「全国都市緑化かわさきフェア」春開催について》

【tvk】 tvkです。ひどい声ですみません。緑化フェアがちょうど3月22日から始まって折り返し地点ということなんですけれども、これまでの評価と、あと残り2週間、期待するところがあれば教えてください。

【市長】 今日はあいにくの雨ですが、開園の日から、週末含めて、平日もですけれども、大変多くの皆様が3会場に足を運んでいただいているということで、秋よりもはるかに多い人たちが、まだ数字を確定して見たところではありませんけれども、感覚としてすごく人が来ていただいていることは大変うれしいことです。

最後の最後まで、やはり多くの人たちに川崎の新しい緑の可能性というものを感じていただきたいと思いますし、準備その他、スタッフも全力を挙げて頑張っておりますので、いいものにしていきたいなと思っております。

【司会】 ほかに、特に御質問よろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして市長記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

【市長】 ありがとうございました。

(以上)

・この記録は、明らかな言い直しや言い間違い、質問項目など整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当